

神の国の奥義(31)

=人となられた神⑩=

■御言葉:ヨハネ10章

- ① 門から入る者:イエス自身が門であり、よい羊飼(ヘブル10:20)
- ② 羊は羊飼いの声を聞き分ける;羊飼いは先頭に立っていく(エレミヤ42:6)
- ③ 囲いから出る必要→あなたにとっての囲いとは?
- ④ 羊は羊飼いを知る=子が父を知るのと同じ
- ⑤ 羊飼いはひとり、その方の元にあつてひとつとされる
- ⑥ 羊飼いはいのち(=魂)を得るために、いのち(=魂)を捨てる
- ⑦ イエスの魂に対する権威
- ⑧ イエスと父の関係:イエスは父のうちにおり、父もイエスのうちにいます
- ⑨ 新約の神の語りかけはすべて御子による(ヘブル1:2)

■ 暗証聖句

10:3 門番は羊飼いには門を開き、羊はその声を聞き分ける。羊飼いは自分の羊の名を呼んで連れ出す。

10:4 自分の羊をすべて連れ出すと、先頭に立って行く。羊はその声を知っているので、ついて行く。

10:9 わたしは門である。わたしを通過して入る者は救われる。その人は、門を出入りして牧草を見つける。

10:10 盗人が来るのは、盗んだり、屠ったり、滅ぼしたりするためにほかならない。わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。

10:11 わたしは良い羊飼である。良い羊飼いは羊のために命を捨てる。

エレミヤ42:6 私たちは良くても悪くても、あなたを遣わされた私たちの神、主の御声に聞き従います。私たちが私たちの神、主の御声に聞き従ってしあわせを得るためです。

ヘブル 1:1 神は、かつて預言者たちによって、多くのかたちで、また多くのしかたで先祖に語られたが、この終わりの時代には、御子によってわたしたちに語られました。